

喜界町



議会だより

187号

令和4年5月11日発行



令和4年スギラビーチ海開き



主	一般会計当初予算・補正予算の主なもの・・・	2
な	一般質問に6名が登壇	5
内	条例案件報告・議会のうごき	11
容	はがきアンケート	12
	読者の声・編集後記	14



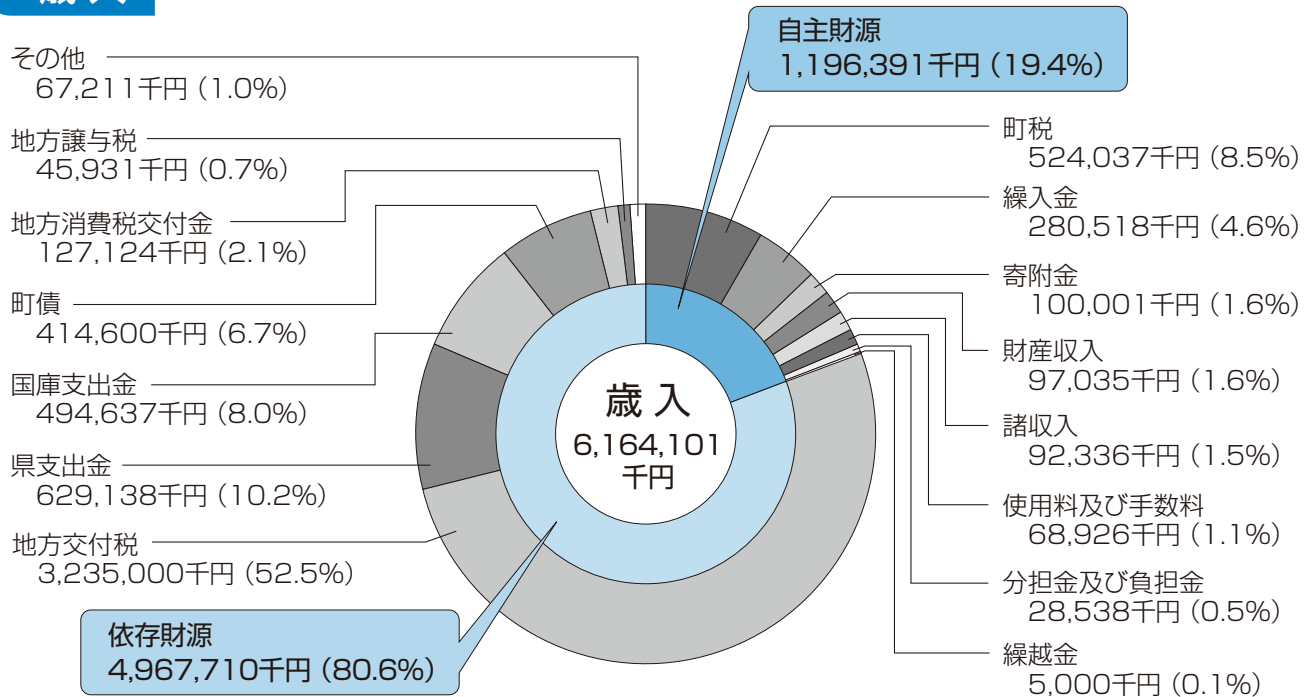
発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

“こども医療費、小中校給食費無償化”

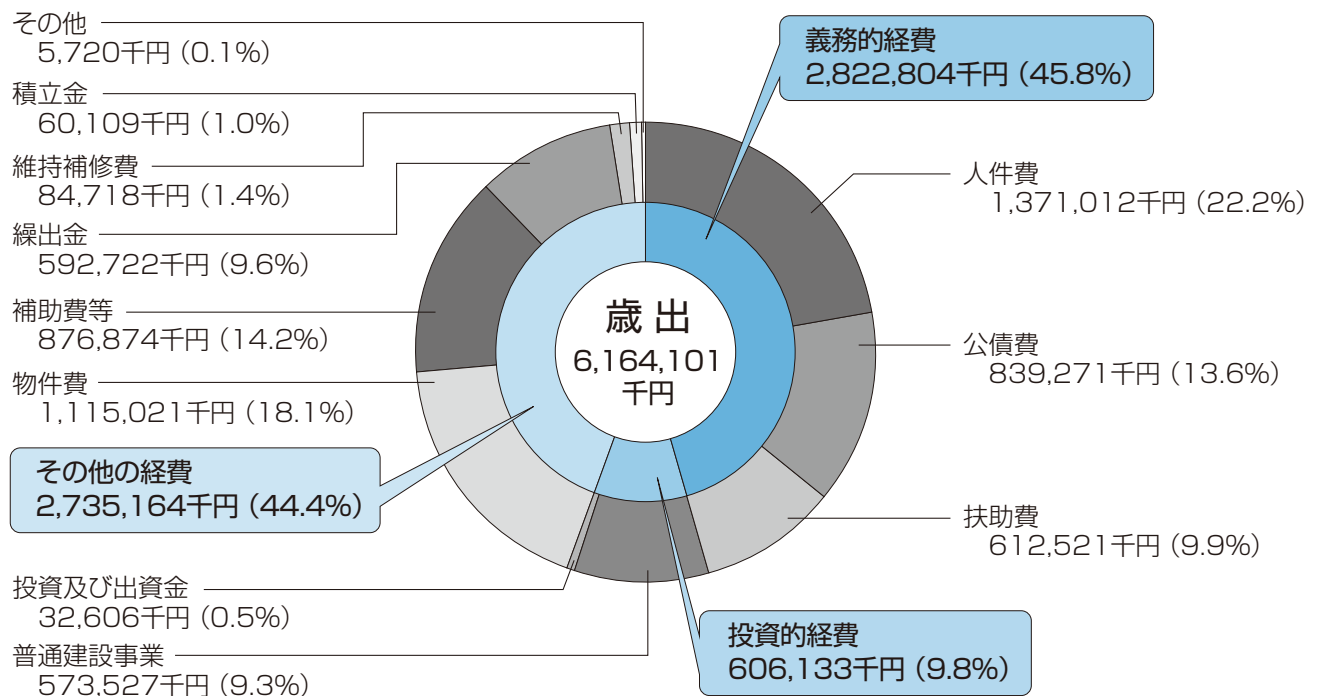
令和4年第1回定例会は、3月2日開会し3月17日まで16日間の会期で開かれた。初日は報告3件があり、承認1件を承認、議案7件、同意2件を可決。議案6件を予算審査特別委員会に付託、議案7件を各常任委員会に付託した。3月10日は一般質問があり6名が登壇。3月17日の最終本会議では、予算審査特別委員会、各常任委員会の委員長から報告があり、議案14件を可決、追加議案3件、発議1件を可決した。

令和4年度 一般会計当初予算

歳入



歳出 《目的別》



令和4年度一般会計当初予算の主なもの

※(新)は新規事業

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	庁舎管理費	庁舎屋上の防水工事(屋上の防水シートの交換)	34,000千円
	財産管理費	旧坂嶺小学校(体育館横の旧幼稚園解体・撤去工事)	5,000千円
	消防費	消防関係車両購入費(救急車更新)	39,000千円
	(新)防災災害対策費	危険空き家等解体撤去補助金。解体費の半額、若しくは上限30万円×2軒分	600千円
企画観光課	地域おこし協力隊費	観光物産協会関連の継続及び寮関連、移住・定住関連、農業関連の新規地域おこし協力隊に係る経費(4名分計上)	8,140千円
	移住促進事業費	空き家バンクに登録している物件の改修補助金(集落が中心となって行う改修、個人が行う改修が対象)	3,000千円
	喜界馬復活・活用プロジェクト事業費	島内では飼育されなくなった喜界馬(現在は十島村で飼育されている)を復活させるためのプロジェクト	2,720千円
	地方創生関連事業費	東京農業大学へ農産物(白ゴマ)の研究委託料	500千円
	ジオパーク推進事業	ジオパーク申請に向けた業務委託費。喜界島サンゴ礁科学研究所に委託し協議会設置後申請を目指す	7,181千円
	奄美らしい観光推進事業	喜界島の自然を活かしたPRビデオ制作委託料及び、着地型・滞在型観光推進事業補助金	28,600千円
	加工販売施設運営費	農産物加工販売施設の運営事業費	12,831千円
町民税務課	廃棄物処理施設整備費	最終処分場工事管理委託料(8,000千円) 最終処分場用防水シート(20,000千円)	28,000千円
	住民生活費	シルバー人材センター運営補助金	4,200千円
	火葬場費	火葬場管理委託費(喜界総合企画へ委託)	4,301千円
	塵芥処理費	廃棄物収集及び運搬業務委託料 (タケダ環境保全・シルバー人材センター)	25,348千円
	保健衛生総務費	使用済自動車等海上輸送費補助金 家電リサイクル海上輸送費補助金	4,288千円
	日本で最も美しい村連合関連事業費	「日本で最も美しい村」連合に加盟しているための負担金	620千円
農業振興課	農林水産業費	県営畑地帯総合整備(担い手育成型)事業負担金	35,000千円
	多面的機能支払交付金	農地、農業用施設等の保全のための補助金。水土里サークル各単組活動費(沈砂池含む)	35,160千円
	農業次世代人材投資事業	新規就農等の農業次世代人材(49歳未満)の定着を図るための給付金。継続、新規各4名	12,000千円
まちづくり課	地域住宅交付金事業	住宅新築工事(国・県補助事業)。宮戸住宅J棟	110,700千円
	地方改善施設整備事業工事請負費	小野津から志戸桶線、神宮20号線地内の排水路を整備	20,000千円
保健福祉課	高齢者福祉費 配食サービス委託料	高齢者で食事が不便な方へ訪問給食を行う	6,960千円

令和4年度一般会計当初予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
保健福祉課	高齢者福祉費 長寿祝金	長寿お祝金、85歳2万円、90歳3万円、95歳5万円、100歳10万円	4,700千円
	こども医療費助成事業費 こども医療費助成金	18歳までのこども医療費を全世帯へ全額支給する。またこどもが修学その他の理由により喜界町以外に住所を有する場合でも、支給対象とする	8,350千円
	母子保健事業費 諸検診業務委託料	妊婦健康診査、定期予防接種、新生児聴覚検査、妊婦歯科健診、産婦健診、子ども任意インフルエンザ予防接種の委託料	16,525千円
	母子保健事業費 不妊治療旅費、治療費助成金	不妊治療に係る旅費、交通費、医療費を助成する	938千円
	新型コロナウイルスワクチン 対策事業費委託料	新型コロナウイルスワクチン接種対策に係る費用(全額国庫負担)	14,815千円
	児童福祉総務費 出産祝金	ふるさと寄附金を活用し、第1子10万円・第2子20万円・第3子30万円・第4子40万円・第5子以降50万円の出産祝金を支給。また乳幼児紙おむつ購入費助成で子育て世代を支援する	10,000千円
教育委員会 事務局	スクールバス運行委託料	大型4台、中型2台、マイクロ2台、計8台の運行費及び車検・燃料・整備費用	43,200千円
	国公立大学進学応援事業費	国公立大学に進学する喜界高校卒業生対象。20万円×5名	1,000千円
	小学校費	新1年生を対象とした入学祝い金。早町小学校の学習に生かしたペッパー君のリース料など	49,802千円
	中学校費	新1年生を対象とした入学祝い金など	35,612千円
	幼稚園費	幼児教育の充実と子供たちに応じたきめ細やかな対応ができるよう保育環境を整備する	92,903千円
	文化活動費	中央公民館に展示している喜界馬のクリーニング代等	4,107千円
	図書館費	図書購入費等	25,454千円
	保健体育費	大島地区大会ゲートボール競技が本町で行われる為のグラウンド整備費用及び弓道場の修繕費等	23,990千円
給食施設費	安心安全で栄養バランスのとれたおいしい食事の提供を行い、民間業者と連携を図り衛生管理の徹底に務める。また、地元食材を活用した郷土料理の提供に努める	103,539千円	

令和3年度一般会計補正予算の主なもの

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	一般管理費	早町公民館・志戸桶のぞみ幼稚園の改修工事(国県補助事業)	5,024千円
企画観光課	ふるさと給付金事業	返礼品の追加に伴う費用	12,317千円
	コワーキング(共有オフィス)施設 等整備事業費	旧荒木小学校(特別教室2階)新規事業の工事請負(国県補助事業)	66,000千円
町民税務課	物地域対策推進費	海岸沿いの軽石撤去作業関係での追加費用	13,000千円
農業振興課	奄美農業創出支援事業費	営農支援センター改修工事(内外装、トイレ、一部増設含む)(国県補助事業)	63,800千円

一般質問 町政のここが聞きたい

第1回定例会で6名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
生駒 弘 議員

電子母子手帳「母子モ」の活用で新たな子育て支援を

質要

電子母子手帳、母子モは住民に情報を届ける新たな重要なコミュニケーションツールであり、スマホアプリの情報発信は子育て世代の住民に行政の情報を届けられるツールである。妊婦検診、乳幼児健診、予防接種、子育てイベントなどの案内も自動通知でお知らせが可能で、健診、予防接種やイベント参加率の向上が期待される。

質問

電子母子手帳「母子モ」の導入はできないか伺う。

答弁

保健福祉課長

現在、母子健康手帳を発行し、母子の健康管理や出生届出、新生児訪問、乳幼児健診、母子相談、親子教室等で母子と対面でコミュニケーションを図りながら、子育てしやすい環境を整えている。本町は出生数が少ないことや身近に相談

支援体制が多く存在すること、関係機関との連携の取りやすさ等、家庭や子供に寄り添った子育て支援が可能である。今後、必要性が高まれば、母子手帳アプリの導入を調査・検討していく。



母子手帳アプリ

中里荒木線の歩道に防犯灯の設置を

質問

冬場は真っ暗で学生も大変な思いで帰宅している。住民から県道中里荒木線の歩道に街灯をつけてくれないかと要望があるが本町の見解を伺う。

答弁

町長

町内にはこの場所に限らず対象となる区域が数多くある。現在の対象児童生徒と今後の推移等を勘案して、自転車のライトを強化、反射板を取りつける方法や、スクールバスの活用を最優先に考えている。

子育て世帯の負担軽減に向けて教育施策の見直しを

質問

高校の教科書、学用品費等に対する支援は本町でもできると考える。子供がたくさんいる家庭では大変な思いをしながら子育てをしている。支援はできないか見解を伺う。

答弁

教育長

高校に入学する全ての家庭への入学祝い金の支給を初め、各種検定料や大学入学金の補助、喜界高校教育振興負担金やスポーツ振興負担金の支給など、本町独自でこれまで多くの支援策や活性化策を行っている。授業料は実質無料。高等学校の教科書費等については、精査しつつ、拡充の必要が生じた場合は高等学校と連携しながら検討していく。

質問

高校の授業料は無料だが、教科書は有償で、更に学級費を年10万円ほど支払っている。教科書の無料化も全国に先立ってやってはどうか。

答弁

町長

全く考えていないのではなく、財政の健全化など併せて取り組んでいきたいと考えている。議員の皆様にも協力していただきたいと思います。



質問する
生島 常範 議員

防災訓練は各地域、自主防災組織で官民連携で

質問 ① 1月16日未明の津波避難警報の経験から、定期的に官民連携で避難訓練や自主防災組織の見直しが必要ではないか。

② 奄美群島の東に位置する本町の早町港に潮位計設置を要望できないか。

③ 地域の避難所にも使用する喜界中体育館前の階段をバリアフリー化できないか。

答弁 町長・総務課長・教育長

① 今回の経験を活かし、日頃から防災意識を高めていく。また、防災訓練も各関係機関が連携して行う総合防災訓練以外に各地域・自主防災組織ごとに行うことも効果的。官民連携で進めていく。集落の自主防災組織は平成20年頃始めたもので、見直しが必要。集落区長にも組織図の現状等提出を依頼中。

② 発生場所次第では津波到着が

最も早いので、市町村会や国と共に気象庁に対して潮位計設置を要望したい。

③ 避難所としてのバリアフリー化は関係課と連携して検討する。

「喜産喜消」、「喜消喜産」推進は関係機関や他市町村を参考に協議

質問

① 平成27年策定の計画では平成31年度の給食食材の地場産利用率の目標は50%だったが、近年の実績は10%前後。農業振興と食育の観点から他町村同様「地産地消推進協議会」を立上げて取り組めないか。

② 町内で消費することで仕事や雇用を守る。和泊町同様、町長、教育長の指示により喜界町図書館の蔵書の購入先を町内事業所に限定し、新刊本は3ヵ月後に配架する等配慮はできないか。

答弁 教育長・農業振興課長

① 野菜類に限定すると現在は約50%であると聞いている。例年、小学生を対象に農業体験学習を通し、収穫した食材で料理やお菓子を作り将来の農業を支える人材育成も目指している。関係機関と協議し食育、地産地消の活動を盛り上げたい。

② 町内書店からの購入率は約17%。

配架前に必要な作業が可能か、他自治体を参考にし、関係業者と連携して取り組みたい。

人口減少対策は県推進事業の広報、妊産婦支援拡充、地域みらい留学等で取り組む

質問

① 県の結婚支援制度の推進で地域住民の力が期待できる。本町も進めては如何か。

② 奄美市に設置を検討した「妊産婦交流施設」を望む声もある。検討結果と今後の対策をうかがう。

③ 旧前川医院住居を改装して「サング留学生」寮を建設したが、入学生は無しだった。この結果をどう検証し、次年度に活かすか伺う。

④ 「サング研究」に特化せず、各地郷友会、同窓会、アンテナショップ等、島つちゆのネットワークを活かして「島留学生」を募集できないか。

答弁 保健福祉課長・企画観光課長

① 県の事業の広報と情報提供を進めながら、企業・団体等が企画開催するイベントの支援を検討したい。

② 奄美市内に検討したが、管理人の確保、空家の改修等財政的な問題があり、現在の宿泊費助成、出産祝い金、紙おむつ券助成事業

を実施している。今後、他地域の情報も参考にし、どのような支援が出来るか検討する。

③ 町のホームページ、大阪の電車内の広告等で募集したが問合せ4件で、受け入れには至らず。来年度は全国の高校が利用し実績がある「地域みらい留学」に参加し受け入れ態勢を整える。

④ この事業は「サング礁サイエンス島留学推進プロジェクト事業」なので、応募状況を見ながら必要ならば同協議会で制度、募集方法の見直しを検討したい。

学芸員配置は現在検討の必要なし

質問

群島内で学芸員がいないのは大和村と本町のみ。島留学、ジオパーク申請に向けて、分野横断的な知識を有する文理融合の専門職である学芸員配置は必要と思うが見解を伺う。

答弁 町長・教育長

島留学、ジオパーク申請に向けては喜界島サング礁科学研究所に委託している。本町には学芸員の職名は無いが有資格者は複数名いる。群島内他市町村も殆どが埋蔵文化財関係の仕事をしており、今後は検討の必要もあるが、現在のところは考えていない。



質問する
土岐 和貴 議員

『コスト削減』『利便性向上』を目的としたタブレットの導入は実現できるか

質問 ペーパーレス化をどのように進めていくのか具体的な計画と議会と執行部がどのように連携していくのか見解を伺う。

答弁 町長
お互いの連携は必要。ペーパーレス化を進めていく上で議会全体としてどう取り組んでいくのか大事な要素だと考えている。研究し予算の要求があれば、すぐ反映したいと考えている。課題としては議員と執行部が一つのシステムの中で動かなければ、ペーパーレス化は図れないと考えている。

質問
ペーパーレス化に向けてメリット・デメリットは考えているか伺う。

答弁 町長
メリットはデータの共有、簡素化、

膨大な量の書類の整理や管理の効率化が可能になると考えている。デメリットは導入時のコスト面、システム障害などが考えられる。

質問
予算確保を前提にいつ頃からペーパーレス化が実現できるか伺う。

答弁 町長
令和4年、今年度中には新型コロナウイルス関連の交付金を活用し、環境面の整備を図っていく。

障害福祉施策の充実は『生活』や『就労』の支援が最優先

質問
現在、企業でも障害者雇用が充実してきている。長時間の就労は困難であるが少しの時間であれば働きたいと望む方々もいる。この事を踏まえ新たな職域の開拓が必要だと考えるが見解を伺う。

答弁 保健福祉課長
新たな職域を開拓する意義として、障害者の活動の場が広がると思われる。活躍することで仕事に對するやりがいや充実感が得られ、就労意欲の向上にもつながる。その一方で、企業や事業者側は障害者の特性や能力を十分理解した上で雇用する必要があるため、研修や指導に時間を要するのが課題で

ある。町内では役場を含め障害者雇用をしている事業所があるので新たな職域の開拓をお願いしたいと考えている。

質問
どのような仕事なら就労可能か調査は行っているか伺う。

答弁 保健福祉課長
具体的な調査は行っていない。本人の希望や能力を確認した上で、あまみ障害者就業・生活支援センターと連携を図り、相談会等を実施して障害者就労の支援を図っていく。

質問
障害者雇用の必要性の理解度を測るためにも調査やアンケート、定期的な意見交換会が必要だと考えるが見解を伺う。

答弁 保健福祉課長
現在、農業振興課が認定農業者の方々に対し、農業分野における人材、労働力確保についてのアンケートを実施している。その中で農福連携の概要についても紹介している。

唯一の強み『自然』の豊かさを活かした離島観光マーケティング

質問
課題である観光地としての認知

について現時点での取り組みや戦略はあるか見解を伺う。

答弁 町長
観光は幅広い産業に関する非常に裾野の広い総合産業であり、地域経済を引っ張る大きな可能性を秘めている。また多くの人が訪れることにより、自分たちの町を見詰め直す機会につながることも魅力の一つである。島全体に活気が満ち、心豊かに暮らせるまちにするため、観光は将来へ向けた重要なテーマと考えており、喜界町の活性化に向けた柱の一つと捉えて取り組んでいく。

質問
島のファン作り、継続性をもたせる訪問者目線の企画など計画中の事業を伺う。

答弁 企画観光課長
奄美らしい滞在型・着地型観光事業で、観光客向けのクーポン券を発行し、郷土料理など五感を通じて体験していただく観光メニューやふるさと納税を活用し、返礼品に観光パンフレットを同封することで喜界町の認知度向上を図っている。来年度はアフターコロナを見据えて4Kプロモーションビデオの制作やクーポン券事業を継続実施。



質問する
米田 信也 議員

早町地区に大型避難所を

質問 1月16日の津波に対するJアラート、全国瞬時警報システムが防災無線でなぜ鳴らなかったのか伺う。

答弁 町長

Jアラート放送は、通常であれば津波警報が発表されると自動的に起動し、高台への避難の呼びかけとサイレンが鳴る。今回は、不具合が判明し修理に出している最中に災害が起きたためシステムは起動しなかった。修理は1月19日に完了し、動作確認まで済んでいる。今回の経験を今後の対応に生かしていきたい。

質問

災害時の在宅要介護者等の避難に関して、他者、同居家族以外の手助けがないと避難できないという状況に対しての対策について伺う。

答弁 総務課長

家族の協力、地域住民の避難支

援に対する意識の醸成、自主防災組織の充実が必要だと考える。要支援者に対する個別避難計画の策定を急いでいる。この計画も行動まで時間的な余裕がある場合には効果があるが、今回のような1分1秒を争うような場合、近くにいる人が頼りになる。行政としても助け合い、取組みをサポートしていく。

質問

早町地区では高台に避難場所がなく、車中泊を余儀なくされた家族が多数あり、トイレにも不自由し、寒い中朝まで避難を余儀なくされた。早期の早町地区の高台の避難場所の設置が望まれる。町の見解を伺う。

答弁 総務課長

早町地区、高台への新たな避難施設の設置については、以前から検討しているが、場所の確保も含め現状では難しい。今回の一時避難場所でのトイレの問題も、我々は課題として認識をしている。町民の皆さんにも車で避難をする際には、携帯用トイレを備えるなど、自分でできることへの協力をお願いしたい。

学校・スクールバス・家庭との連携強化を

質問

教育委員会として各小中学校、

幼稚園と喜界総合企画、スクールバスターミナルとの情報の伝達及び共有の方法、ルールについて伺う。

答弁 教育長

スクールバスの運行については、喜界町スクールバス運行規程に基づき、委託業者と委託契約書を取り交わして、安全かつ確実な運行業務に努めている。

定期運行は、教育委員会の仕様書に定めるとおり、行事などの臨時の運行は、各学校からの計画書と教育委員会からの依頼書によって、バス運行会社と連絡や情報の伝達及び共有を行うシステム及びルールである。必要な場合には、教育委員会、学校、バス運行会社の間で電話連絡を行う。今後、教育委員会との連携をより一層強化するとともに、教育委員会、学校3校、業者及び保護者の確実な連絡あるいは連携、周知等に努める。幼稚園教諭の同乗は、現在のところは考えていない。必要ときに検討していきたい。

最終処分場、建設工事は順調

質問

焼却灰の最終処分場建設について、進捗状況、住民の方々への説明、搬入経路の選定について伺う。

答弁 町民税務課長

一般廃棄物の最終処分場は、現在、基本設計を進めながら、補助金の根拠となる循環型の社会推進交付金の地域計画の見直しをしている。

一般廃棄物の設置届、開発許可申請の事前協議の検討を進めている。測量とボーリングは全て終えている。搬入経路は、佐手久集落を通るルートだったが、塩道白川線を通り、塩道、佐手久両集落の民家を通らないルートに変更を予定。集落の住民説明会は、1月23日に再度、塩道集落の役員会において現状報告等を行った。

空き家バンク、さらなる登録件数増を

質問

空き家バンク制度について、前回の質問時より、登録件数、貸出し件数、そして助成金の利用について伺う。

答弁 企画観光課長

登録件数が9件、うち5件が入居中。喜界町定住促進空き家改修事業補助金の実績は、5件、うち3件が現在入居中、残りの2件が現在改修中。

今後重点施策である移住定住の促進を図るなか、空き家バンク制度事業の拡充を目指す。



質問する
榮 優太 議員

島外医療費・交通費の助成の実現を

質問

町民がいつでも安心して診療、治療を受けられるよう、早急に交通費・宿泊費の助成できないか伺う。

答弁 町長

本町における島外医療受診への旅費助成については、妊産婦や小児慢性特定疾病、不妊治療等、子育て世代への助成事業を実施し、段階的に拡充を図っている。一方、財源確保は年々厳しさを増しており、国や県の補助制度を活用するよう努めている。旅費助成事業については、今後も国、県へ要望をしていく。

質問

早期の病気発見のため、健康診断や、軽い症状が出ても検査を受けることが出来るよう交通費、宿泊費等をふるさと基金を活用して、助成できないか伺う。

答弁 企画観光課長

制度設計が整った上で検討する事案である。ふるさと寄附金の活用については、限られた財源の有効活用及び基金が枯渇することなく計画的な管理運用の観点より、来年度より3か年事業計画を現在策定中である。

釣りを観光資源として積極的に活用

質問

海釣り公園または人工漁礁の設置はできないか伺う。

答弁 町長

観光資源としての魅力向上、交流人口拡大等経済効果が見込まれると考える。今後の課題として、関係機関と前向きに検討していく。人工漁礁設置については、奄美地区広域漁場整備事業の次期基本計画策定に関する令和5年度要望として、大型漁礁設置を要望している。

質問

定期的に稚魚の放流はできないか伺う。

答弁 企画観光課長

これまで町としては、稚魚放流の実績は無い。漁業者で組織している漁業集落で、移動漁業再生支

答弁 農業振興課長

援事業を活用した漁場の生産力の向上、資源回復に関する取組として、シラヒゲウニやヤコウガイの放流を行った実績がある。今年度より、スジアラを640尾、クエを1,000尾の稚魚放流を行っているが、効果については、今後の事業検証後で示される。

堆肥センター建設、慎重に議論

質問

堆肥センター建設の事業計画及び進捗を伺う。

答弁 農業振興課長

農業立島を掲げる本町にとつて、土づくりは生産力向上における根幹をなすものであり、地下水保全など、環境対策や廃棄物を活用した循環型農業、環境負荷軽減に向けた地域づくりなど、堆肥センターの果たす役割は大変重要なものがあると考え。建設時期については、検討中だが、令和6年度ないし令和7年度を予定。建設予定地については、クリーンセンター横を計画している。

質問

原料と回収方法や安定した原料確保ができるか伺う。

答弁 農業振興課長

原料については、牛ふん、下水道

答弁 農業振興課長

汚泥、生ごみ、あと雑木等の剪定枝を予定している。牛ふんについては、これまで畜産農家を対象に聞き取り調査を実施。その調査に基づいて1日当たりの搬入量は約20トンを見込んでいる。あと、回収方法については、いかに効率的に、無駄なく回収を行うかという体制づくりについて検討委員会の中で協議を進める。

質問

現在、堆肥を販売している喜界農業開発組合や飼料生産組合、ヤマサンなどに支援をしたほうが、原料となる牛ふんの運搬、堆肥販売、堆肥散布など、効率よくできることから、堆肥の生産コストを低減でき、堆肥を適正価格で販売できると思うが考えを伺う。

答弁 農業振興課長

堆肥センターの役割としまして、土づくりによる農業生産力の向上を目指すほか、循環型農業の推進として、牛ふんのみならず、島内から排出される廃棄物をできるだけ有効的に活用し、土に還元することも重要な目的である。廃棄物の堆肥化により、クリーンセンターや最終処分場など、処理施設の延命化、燃料費のコスト削減、CO₂削減、脱炭素社会等の取組についても、大きな役割を果たすものと考えている。



質問する
良岡 理一郎 議員

町内無料PCR検査は継続を県に要望

質問

新型コロナウイルス対策について

- ① 2月の感染状況
- ② 宿泊療養施設の基本方針
- ③ PCR検査の拡充
- ④ 3回目ワクチン接種等について伺う。

答弁

保健福祉課長

- ① 2月の感染者は8名で全員軽症。うち島外居住者が3名、島内在住者は5名であった。1名は宿泊療養施設を利用、その他は自宅療養。隔離期間は10日間である。
- ② 自宅療養を避けるとの県の基本方針は変更されていない。家族への感染を防ぐため、基本は宿泊療養、子育てなどやむを得ない場合は自宅療養となっている。
- ③ 町内での無料PCR検査は、3月8日現在43名の利用あり。検査理由は帰省、通院、受験、スポーツ大会参加などのため。4月以降については出来るだけ継続実施でき

るよう県と協議していく。

- ④ 2月の高齢者の3回目のワクチン接種は対象者2,754名、接種者2,446名、接種率88.8%。教職員の接種については昨年残ったワクチンを接種した方は6か月を超えており2月に接種できている。

津波対策は課題が山積町・集落・個人での備えを

質問

- ① 1月16日夜の津波警報時の対応
- ② 児童生徒が在校時での津波対策
- ③ 各集落における雨戸、内トイレの進捗等について伺う

答弁

総務課長 教育長

- ① Jアラートが起動せず、初期の防災無線が屋内にとどまったことは今後の課題として受け止めたい。避難所への避難者は約1200名、車中避難者は台数で約460台。今回、高台の集落では海岸線の集落の皆さんを快く受け入れていただき、町としてもそういった取り組みを後押ししたい。
- ② 学校では対応マニュアルを作成し、年1回の避難訓練を実施している。訓練の所要時間は10分から15分で完了している。また、「津波でんでんこ（個々で避難）」など東日本大震災の教訓も活かしていきたい。
- ③ 公民館の雨戸、トイレの改修が

令和3年度に終わるのが14集落。令和4年度の予定が15集落である。残りの集落は個別対応が必要なので、早急に集落区長と協議をさせていただく。

「土地利用規制法」町としては法律に従って適切に対応する

質問

土地利用規制法の本町への影響について

- ① 土地利用規制法では、政府は基本方針に基づき重要施設の敷地おおむね1,000メートルに「注視区域」や「特別注視区域」を指定でき、地方公共団体の長等に対し土地等の利用者に関する情報の提供を求めることができることとされている。当該エリアでは土地価格の下落も予想される。町長の認識を伺う
- ② 自治体が保有する個人情報がある。町長はどのように対応するのか。

答弁

町長

- ① 現在、国からはこの件に関する通知等が届いていない。本町の自衛隊施設の1キロ四方のほとんどが畑や斜面であり、町民の生活と財産に影響があるとは思わない。国の基本方針が示されれば、町としては法律に従って適切に対応する。
- ② 個人情報の取り扱いには町民の不

利益になることがないよう、公益性、公益性等を総合的に判断することになる。



防衛施設風景

野生シカは303頭生息か前回調査115頭から2.6倍増える

質問

- ① 第2回目の生息頭数調査の結果を伺う
- ② 今後の対策について幼獣駆除こそ重視すべきではないか。

答弁

農業振興課長

- ① 今回の調査は昨年11月から本年1月にかけて実施し、算出された推定生息頭数は303頭である。前回調査の115頭よりかなり増加しており、危機感を持っている。
- ② 対策として、成獣の捕獲を強化する、捕獲技術の向上、新たな情報や技術の取得を図る。センサーカメラの増設、ワナの作動情報システムで効率的に駆除を行っていきたい。

◆ 条例案件報告 ◆

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第8号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について(町長、副町長、教育長の給与を平成16年4月から令和4年3月まで10%減額する条約の期限を更に令和5年3月まで延長する)	11	0	原案可決
議案第9号	喜界町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について(これまで1年未満の非常勤職員は育児休業を取得できなかったが、改正により、1年目から取得可能とする)	11	0	原案可決
議案第10号	喜界町災害による徴税減免条例等の一部を改正する条例について(押印の廃止・見直しに応じて、各種減免申請書及び申請書の押印を廃止する)	11	0	原案可決
議案第11号	喜界町消防団条例の一部を改正する条例について(災害発生現場出動及び訓練等のため出動した場合の費用を改正するもの。災害発生時の出動を1日5千円から8千円に。訓練の為の出動3時間以上5千円を8千円に。3時間未満3千円を4千円に改正する)	11	0	原案可決
議案第12号	喜界町サンゴ留学による寮設置条例の制定について(湾281番地・旧前川医院住居跡を改装したサンゴ留学生寮設置に伴い、名称を「KIKAIJIMA マザーツリーハウス」とする等の寮設置)	11	0	原案可決
議案第13号	財産の貸付における使用料の一部減免について(旧校舎の有効利用等の目的で、旧荒木小校舎の一部201.6㎡を令和4年4月1日から、(株)ヴァイタライズへ貸付において、使用料を年額155万9千円から年額72万円に減免する)	11	0	原案可決
議案第14号	喜界町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について ①18歳までの子ども医療費を住民税課税世帯の子どもについても全額支給とする。 ②当該(それに当る)子どもが修学その他の理由により喜界町以外に住所を有する場合でも、当該(それを受け持つ)子どもを現に監護している者が喜界町に住所がある際は、支給対象とする。	11	0	原案可決

議会のうごき (4月～6月)

- 4月 8日(金) …………… 議長・事務局長合同会(奄美市) 議長
- 4月19日(火) …………… 県市町村連携会議(旧県政説明会) web 会議 議長
- 4月25日(月) …………… 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会等(名護市) 議長 延期
- 5月10日(火) …………… 議員大会(奄美市) 議員全員
- 5月17日(火) …………… 臨時総会(鹿児島市) 議長
- 5月17日(火) …………… 議員研修会(鹿児島市) 議員全員
- 5月24日(火)～26日(木) …………… 各種協議会(奄美市) 議長

ご案内

次の議会は、6月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。
(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ
喜界町議会事務局
電話 65-1115

※皆様からお寄せ頂いたアンケート内容は広報委員会にて協議し掲載致しております。第2回はがきアンケート内容は今月号（第187号）から2回に分けて受付順にご意見・ご感想を掲載致します。尚、個人・団体への誹謗中傷と判断した内容がある場合は掲載を控えておりますので、予めご了承いただきますようお願い申し上げます。

◆「議会だより・議会」に対する意見（はがきアンケート）

公園の歩道を散歩しやすいように手入れしてほしい。自然休養村の桜見に園内一周したが、もう少しきれいにしてほしい。【年齢:不明】

いろいろな角度から問題点を見つけ、どのような対応・対策があるのかなど質問等を読んでいると勉強になります。【年齢:50代】

町内の身近な課題、それに対する対策がわかりやすく解説されており、大変感謝しています。ペーパーレスへの取組（ハガキではなくQRコード）等も検討して頂けたらありがたいです。【年齢40代】

未就学児や出産費用に関する助成が増えていますが、少子化を抑止することにはつながらないと思います。今は災害や感染症で困った町民の生活を守ることが一番大切だと思います。先日津波の心配により多くの島民が明け方まで車中で避難を経験しました。島内海拔10m以下の場所を安全とは言えないと思います。町営住宅の建設場所はもっと考えるべきです。海拔3～4mの宮戸団地が「津波浸水も想定地域でない」と言っている点で災害に対する危機感が低く、対策を真剣に考えるとは思えません。【年齢:30代】

議会で検討または提案された案件は、その後どうなりましたか?進捗状況が知りたいです。【年齢:80代】

この時期（コロナ禍）それぞれ大変かと思いますが、代表の方々ガンバッテ下さい。これからも「議会だより」楽しみにしています!【年齢:70代】

若い人の死去が多いと思います。町あげでの健康増進を考えて欲しい。埼玉の三郷市を参考。【年齢:60代】

全議員での一般質問をお願いします。【年齢:50代】

文化（歌曲もの、図書、絵画などの芸術性）的な箱物（ハード）とソフトに予算をもう少し作って頂きたい。町会議員さんには「上」ばかり見ないで「下」を見て活動して頂きたい。【年齢:60代】

はがきアンケート、今月号拝見いたしました。良い評価、意見ばかりの掲載ではなく悪い評価意見も議会だよりに載せて下さい。編集後記内の「ただまっすぐやれば上等」すばらしい名言です。議員さんに期待します。【年齢:50代】

議会は町執行部へ質問する形で行われているが、議員同士の協議（討議）を行っても良いのではないかと。又、議員からの政策提言も多いいにあって良いと思う。【年齢:70代】

長寿者の多目的な場所（旧学校等を利用して）いつでも気軽に長寿者が集って、軽い運動が出来る場所（体、足、腰にいいストレッチの道具がおいてある）【年齢:70代】

いつも、一般質問をする議員は決まっていますね。他の議員ももっともっと町民の困っている事を議会でとりあげてほしいです。喜界町民の代表なのですから!【年齢:70代】

島にとって観光は大切。海が軽石で汚染され泣いているように思われた。いつも海にいくと打ちあげられたペットボトルやビール缶、割れたビンのカケラはとりわけて恐怖です。孫達の夏が年々汚染された海になる現実には悲しいものです。議員さん喜界島をよろしくです。【年齢:70代】

移動手段（タクシー）が利用しやすい実状に合ったものにして欲しい。船の時間も考慮して利用できるように。【年齢:70代】

186号掲載の「はがきアンケート」に学びました。ありがとうございます。【年齢:80代】

100ではなく、自分のいける日に行ける曜日、都合の良い時に行ける様なスポーツジムの様な所があってほしい。不規則な仕事に従事していると、100の様に決まった日のみだとスポーツがしにくい。【年齢:30代】

津波・水害等々の避難訓練を集落毎に実施(年に2回以上)して欲しい。
伊実久から伊砂間の県道を海が見える景観に伐採して欲しい。【年齢:70代】

野生化したシカは元は個人が島へ持って来たのだと思う。町民の税金を使うのもどうかと思う。外から持ってくる時は届け出て責任をもってもらうようにしてほしい。元気度アップポイント事業ポイントをもらう事反対です。自分のための健康管理自分でしてほしい。議員の人へ→選挙が終わるとあいさつがないように思う。【年齢:70代】

楽しみに拝読しております。女性議員が誕生します様に。【年齢:70代】

議会だよりは工夫されて読みやすい、理解しやすい内容です。島に暮らし、自家用車運転時、側溝の上蓋が掛かってない事に不慣れで車輪を落とす不安が大きいです。せめて左カーブ手前まで上蓋が掛かっているのにカーブ曲がった直ぐにむき出しの溝くらいは見通せる位置まで上蓋を掛けてほしいと思っています。外出して利用する建物内のトイレに和式(共用)があり、手摺りも無いため難儀する。店には言いづらいです。バリアフリーの観点で全体に啓蒙などしていただけると助かります。【年齢:70代】

毎回興味深く拝読しております。前回掲載の読者の声「島外への治療、検査の為の渡航費に関する陳情」はやく実現できるように宜しくお願い致します。【年齢:70代】

一般質問は同様な事はしないで時間の無駄、議員間で検討会を。【年齢:70代】

議会を見に行けなくても情報がオープンになっているところがとてもクリアで良いと思います。昔ながらのやり方ばかりでなく、改革も必要。若手議員の方の柔軟な視点に期待します!! 【年齢:40代】

猫より、カラス被害を取りあげて欲しい。タンカンや島ミカン等がひどい時は2~3日で、ほとんど食べつくされる。猫が道路をよこぎるなら、車のスピードをおとす等に対応する。以前より道路をよこぎる猫をみかけなくなっている。自己中心になってほしくない!(奄美や徳之島では、くろうさがが交通事故にあっていると聞く)【年齢:60代】

人口の約半分を年寄りで占める当地において、病院が少ない様に思います。空気のきれいな住みやすい古里で一生を過ごしたい、若い頃都会に出た友人たちもUターンしたいが、病院に不安があります。もっと暮らしやすい町に… 【年齢:80代】

議会だよりを読ませてもらっていますが、いつも同じ顔ぶれの議員さんが質問されているようですが、他の議員さんは、どうされているのですか。又、議会の時に居眠りをしている議員さんもいるとかで?議員さんと名ばかりで仕事内容がみえてこない人もいます。そんな議員さんはひつようですか? 【年齢:不明】

高齢の一人暮らしが多い島。若い人達と年寄りが集える場所がほしいです。(いこいの場)【年齢:80代】

飛行場の待合所を早期に改修してほしい。国県に要望等して下さい。【年齢:80代】

議会だより、わかりやすくとてもいいと思います。それぞれが同じテーマの質問でないのが、又良かったです。これからも喜界島が住みやすい島で人口がふえて行くようがんばって下さい。【年齢:70代】

将来の喜界島について、10年後、20年後の喜界島について町民が議員さんがどう考えているか 【年齢:70代】

読者の声

小さな島での大発見

貴島 美由紀(神宮)

みなさんの喜界島生活の中でドキドキワクワクすることはどんなことでしょうか？わたしは、2歳の娘の手に包丁が握られていた時にはドキドキしました。(なんと恐ろしい絵面でしょうか)

わたしの友人に、極度の方向音痴のKちゃんがいます。これまでうまく切り抜けていたのか、わたしは全然気がつきませんでした。慣れない場所だと、お店から出ると方向がわからなくなったり、入口の複数あるお店が同一店舗だとあとで気が付いたり、毎回大冒険や大発見をしているらしいのです。

その話をKちゃんに聞いて「方向音痴は、いつも新鮮な気持ちで好奇心をくすぐられて楽しいかも！」と感じました。苦勞も多いことが予想できるので、方向音痴になりたいとは思いませんが、自分の知らなかったことがわかるようになる喜びには心をくすぐるものがあります。きつと、包丁を手を取ったうちの娘も、わたしの真似をしたい欲求があるだろうし、いつも何かを知りたくて行動しているのでしょう。もっともつといるんなことに興味を

もって知ってほしい。これから新たに体験することが、喜びに変わるものだったらいいなあと母は思います。

さて、わたしは議会だよりを読んでいて「そうだったんだーそういうことになっていたんだ！」といつも思います。喜界島に住んでいながら、島のことを全然知らなかったこと、各分野に取り組んでいる人がいることなど、より暮らしやすい島になっていく過程を知ってワクワクしています。もう自己満足の世界。結果の背景を勝手に妄想していることもあります。時には「何も知らずにあーだこーだ言ったアレだ！」と反省することもあります。

みなさんにとつての日常は、誰かの発見になつていくかもしれません。結果よりも過程がおもしろかったりします。小さいと思っていた喜界島での出来事が実はすごいことかもしれないですね！大人になつても好奇心を持つことも未来を妄想することも大切なかもしれません。

わたしはまだまだ島生活を楽しみたいので、いろんな人の視点を妄想してドキドキワクワクしながら喜界島を考えてみたいと思つています。方向音痴の視点は楽しそうなので、友人Kちゃんの方向音痴はそのまま継続してほしいです。

編集後記

町議会議員に成りまして、早いもので2年目になります。

常任委員会や広報委員会の活動が徐々にわかってきました。

今回の議会定例会は、令和4年度一般会計予算案が主な議題でありました。喜界町の財政予算案を含め議員全員で審議してきました。

さて、議会だより(187号)では、予算の計上や一般質問の内容、町民の声を掲載しております。ぜひ、目を通してください。

私のことですが、初めての一般質問の時は緊張しました。まだまだ未熟ではありますが先輩方からの教えを頂きながら頑張つていく所存です。

これからも、町民の声を聴き行政への質問を行つていきたいと思つています。

また、新型コロナウイルス感染症が早く収束する事を祈っております。

前回の議会だより(186号)に2回目の返信用はがきアンケートを同封しております。2年間有効ですので是非、ご意見をお寄せください。

文責 倉橋 博都



返信用はがきアンケート

- 喜界町議会広報委員会
- 委員長 良岡 理一郎
- 副委員長 倉橋 博都
- 委員 野間 弘也
- 委員 生島 常範
- 委員 米田 信也
- 委員 土岐 和貴